第1章　平成16年度山口大学構内遺跡の調査

第1節　平成16年度に実施した遺跡調査の概要

山口大学の関連諸施設は、山口市（吉田・白石構内）、宇部市（小串・常盤構内）、光市（光構内）の県内各市に分散しているが、各構内は「周知の埋蔵文化財包蔵地」内、つまり遺跡の上に立地している。各構内の様相を概略すると、吉田構内は縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての全時代を網羅する複合集落遺跡として県内でも著名である吉田遺跡内に、白石構内は弥生時代から古墳時代を中心とした集落遺跡である白石遺跡内に、小串・常盤構内は旧石器時代から江戸時代にかけての遺物が出土する山口大学医学部構内遺跡・山口大学工学部構内遺跡内に、光構内は縄文時代から江戸時代にかけての集落遺跡・遺物散布地である御手洗遺跡・月待山遺跡内に位置している。

このような環境の中、山口大学埋蔵文化財資料館は山口大学構内の埋蔵文化財を保護・活用する施設として、昭和53年(1978)に設置された。設置以降現在まで継続的に全構内遺跡の調査・研究を担当してきたが、国立大学が法人化された初年度である平成16年度の調査体制は以下の通りとなった。

まず、各構内において地下掘削を伴う工事が立案・計画された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会（平成16年度より設置）において事業計画の確認を行った後、文化財保護法の諸手続の下、山口大学各構内が位置する地方公共団体（山口県および各市）の指導により、埋蔵文化財保護の立場から事前・試掘・立会の三種の方法で調査を厳密に行う。また、これらの法に基づいた調査以外でも、「周知の埋蔵文化財包蔵地」外に位置する一部の大学関連施設（職員宿舎等）敷地内で地下掘削を伴う工事が実施される場合には、埋蔵文化財の新規発見の可能性を考慮して掘削時に資料館員が確認調査を行う。

上記の調査の結果、埋蔵文化財が確認された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会を速やかに開催し、遺跡のさらなる現状変更を避けるために工事計画の変更が可能であるか等を協議し、仮にやむを得ず記録保存のための発掘調査の実施が決定されたとしても、その調査方法等について厳密な協議を行う。

以上の調査体制の下、資料館が平成16年度に実施した埋蔵文化財の調査は、下記の通り試掘調査4件、立会調査5件、確認調査1件の計10件であった。当該年度は、過去数年と比しても小規模な開発に止まったと言える。以下に各構内遺跡での調査成果の概要を述べる。

表1　平成16年度山口大学構内遺跡調査一覧表

調査区分	調査名	構内地区	構内地区割	面積（㎡）	調査期間	本書掲載頁
試掘	医学部基幹整備（地下オイルタンク他）工事	小串		144	8月17日～9月28日	8～15
	医学部職員宿舎他公共下水接続工事	小串		400	11月24日～4月25日	16～43
	工学部 定歪速度応力腐食割れ試験用実験室新営	常盤		20	8月31～9月3日	45～46
	工学部光半導体素子実験室新営	常盤		52.5	11月8日～11月15日	47～49
立会	白石地区 市道歩道改修工事に伴う電柱移設工事	白石		1	8月18日	5
	教育学部附属山口小学校事務室新営	白石		101	12月21日、1月14・24日 2月4日	6～7
	教育学部附属山口幼稚園・小学校 フェンス・通用門改修	白石		11	2月18・22日	7
	医学部総合研究棟北側連絡用渡り廊下取設	小串		37.5	3月8日	44
	工学部雨水幹線工事	常盤		9	2月3日	49
確認	湯田宿舎B棟自転車置場新営	その他		11	1月21日	50

吉田構内（本部、人文・教育・経済・理・農の各学部：山口市大字吉田1677-1、教育学部附属養護学校：同吉田3003）

平成16年度は埋蔵文化財調査を必要とする開発工事等は計画されなかった。

白石構内（教育学部附属山口幼稚園：山口市白石三丁目1-2、同山口小学校：白石三丁目1-1、同山口中学校：白石一丁目9-1）

立会調査3件を実施した。

白石地区市道歩道改修工事（電柱遺跡工事）に伴う立会調査では、部分的ではあるが弥生時代以降の所産と推定される溝ないし河川堆積の土層を確認した。教育学部附属山口小学校事務室棟新営工事に伴う立会調査では、部分的に土壙もしくは溝の埋土と考えられる遺構や、河川もしくは遺構埋土と推定される土層などを確認した。教育学部附属山口幼稚園・小学校フェンス・通用門改修工事に伴う立会調査では埋蔵文化財は確認されなかった。

教育学部附属山口小学校事務室棟新営工事に伴う立会調査地周辺では、当館による過去の調査により、弥生時代から古墳時代にかけての竪穴住居跡や土壙が確認されている。今後とも開発工事などによる地下の掘削には十分に注意が必要な地点といえる。

写真1　吉田構内航空写真（南東から）

写真2　白石構内（教育学部附属山口幼稚園・小学校）
航空写真（南東から）

写真3　白石構内（教育学部附属山口中学校）
航空写真（南から）

図1　山口大学吉田・白石構内位置図

小串構内（医学部、同付属病院：宇部市南小串1丁目1-1）

試掘調査2件、立会調査1件を実施した。

基幹整備（地下オイルタンク他）工事に伴う試掘調査は、第2病棟北側の空閑地が調査対象となった。調査の結果、従来小串構内で遺物包含層として認識されてきた青灰色粘土層が検出され、さらにその下層（現状海抜約±0m地点）において旧海底面と推定される砂層が確認された。砂層上面には汽水域に生息する貝類が多量に堆積しており、それらに混ざる状況で縄文土器・土師器・石錘が出土した。

職員宿舎他公共下水接続工事に伴う試掘調査は、構内北東部に位置する体育館及び職員宿舎周辺の広域が調査対象となった。調査の結果、造成土以下の堆積層がいずれも遺物包含層であることが確認された。出土した遺物に関しては弥生時代から江戸時代にかけてのものが主体となっている。平成16年度の調査及び過去の調査成果により、小串構内北部では埋蔵文化財が密に埋存することがより明白となった。今後とも埋蔵文化財の保護には十分な注意が必要な地域と言える。

常盤構内（工学部：宇部市常盤台2丁目16-1、尾山宿舎：同上野中町2658-3）

試掘調査を2件、立会調査1件を実施したが、いずれも埋蔵文化財は確認されなかった。

図2 小串・常盤構内位置図

写真4 小串構内航空写真（南東から）

写真5 常盤構内航空写真（南から）

光構内（教育学部附属光小学校、同光中学校：光市室積8丁目4番1号）

平成16年度は埋蔵文化財調査を必要とする開発工事等は計画されなかった。

写真6 光構内航空写真（南東から）

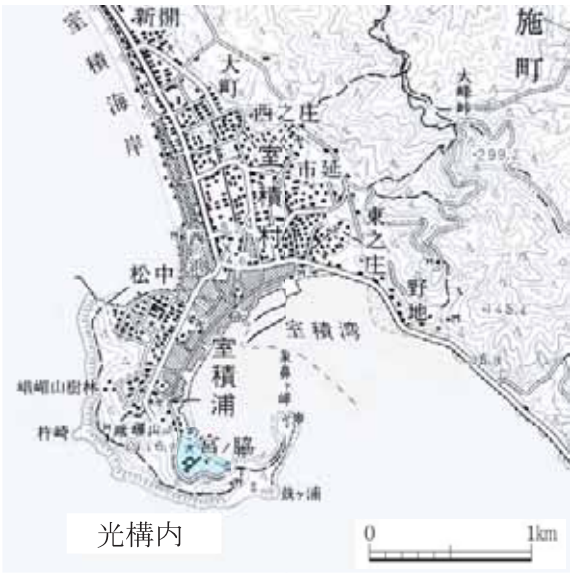

図3 光構内位置図

平成16年度は、吉田・光の二つの構内で調査を必要とする事案が発生しなかった。特に吉田構内では、昭和53年(1978)の当館設置以降、調査が全く実施されない初めての年度となった。吉田遺跡、月待山遺跡、御手洗遺跡にとってはまことに穏やかな1年であったと言える。